



## フルート: 古賀 敦子

日本の福岡生まれのフルーティスト。桐朋学園高等学校を卒業後フランスのパリ国立高等音楽院に入学し、満場一致の一等賞で卒業した。パリの“ルーテス”と“ガストン・クルーネル”、またブカレストの“ジュネスミュージカル”などで優勝、バルセロナの“マリア・カナルス”、東京の“ル・スプレンドル”、イタリアの“カルタニセッタ”等で第2位を受賞するなど、多数の国際コンクールで賞を得る。

東京の桐朋フィルハーモニー、福岡の九州交響楽団、パリのCNSMオーケストラ、ブカレストのジュネスミュージカル交響楽団、またドイツではマゲデブルグ交響楽団、ミッテルドイチ室内交響楽団、ウィラ・ムジカ・アンサンブル、アスカニア交響楽団等とも数々のコンチェルトを行い、ソリストとしての定評を得る。2007年から毎年“シュトラッセ・デア・ロマニカ”シリーズでゲスト・ソリストとしてドイツの各地20箇所以上で世演、2018年にはブラガリアのバシリアソリスト、その他のオーケストラと共演し、大成功を博した。

日本、ヨーロッパで行われる彼女のコンサートは、多くのラジオ、テレビ放送に定期的に収録されている。

ウクライナ生まれのチェリスト。6歳で故郷のオデッサにてバレンティナ・バロンの元でチェロを始め、僅か2年後にウズベキスタン国際コンクールで優勝。その後も、クロアチアのアントニオ・ジャングロ・コンクールとオーストリアのヨハネス・ブラームスコンクール等を含む重要国際コンクールで優勝するなど、驚くべき数の賞を得ている。

13歳でドイツに渡り、彼が最も影響を受けた師であり、助言者でもあるライナー・ファウペルの元で研鑽を積む。その他、ニュルンベルグ国立音楽大学でジグムント・フォン・ハウゼガー教授、ボストンのニュー・イングランド・コンセルヴァトリーにてローレンス・レッサー氏、ミュンヘン国立音楽大学にてヴェン・シン・ヤング教授に師事。在学中にアメリカで協奏曲デビュー、またヨーロッパでも数々のリサイタルを行い、その多くがラジオやテレビ放送され、絶賛を博してCD録音され、今年夏には東京池袋の芸術劇場でのソリストデビューが決定している。



## チェロ: ゲオルギー・ロマコフ



ポーランド生まれのピアニスト。グダニスクの音楽アカデミーにてカタジナ・ポポヴァ・ジドラ教授に師事し、栄誉賞を得て卒業。2008年から2009年までは彼女のクラスの助教授も務めた。現在はブドゴシュチュの音楽アカデミーで教鞭をとっている。

数多くのピアノと室内楽のコンクールで受賞経験があり、2008年にはゲオルギー・ロマコフとデュオでペルチャッハのヨハネス・ブラームス国際コンクールで優勝。2012年にはダブリン・ピアノコンクールでモーツァルト作品のベストプレイヤーとして“ブリジット・ドゥーラン特別賞”を受賞した。現在までにポーランドを中心としてオーストリア、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、ベルギー、スペインを舞台に、ソリストとして、また室内演奏者として定期的にリサイタルを行っている。DIX Soliton, BeArTon, ミュンヘン